

祝 20年連続 日本一の紙のまち

問い合わせ先
産業支援課
28・6186

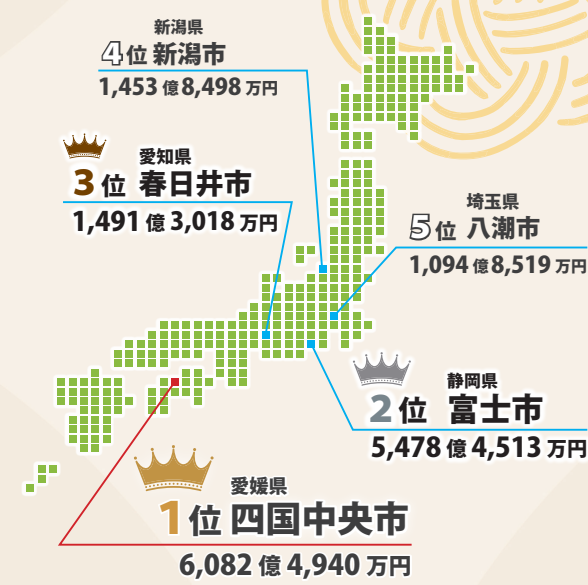


写真「日本一の紙のまちの誇りと伝統を世界に届けたい」と、三島高校書道部が大阪・関西万博で揮毫した作品

紙のまちランキング 20年連続1位達成！

「紙のまちランキング」とは、総務省・経済産業省が公表している「経済センサス―活動調査」や「経済構造実態調査」を基に、「パルプ・紙・紙加工品製造業」の製造品出荷額等が多い自治体を、本市がランキング形式でまとめたものです。平成16年の市町村合併以来、本市はこのランキングで日本一の座を守り続けてきました。

そして、8月に公表された「2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」（2023年実績）で、本市はこの記録を更新し、20年連続で日本一を達成しました。



変化に向き合い 過去最高額を更新

2023年は、新型コロナウイルス感染症の流行で高まっていたタオル用紙などの衛生用紙の需要が、感染症の収束に伴い落ち着きました。また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化などにより、原燃料価格の高騰と物価上昇が続いた結果、買い控えが生じ、包装用紙や板紙の需要が伸び悩みました。

一方で、各社が原燃料価格高騰への対応として実施した価格改定が浸透した結果、需要の減少を補い、全体の売上額は増加しました。特に衛生用紙は、市場規模が前年と比べて約400億円拡大し、多くの品種で売上額が増加しました。

その結果、本市の2023年製造品出荷額等は、前年から138億円増え、過去最高額の6082億4940万円となりました。

紙産業を取り巻く環境は需要の減少や物価高騰などから厳しい状況が続くと見込まれますが、産地同士、企業同士が「共創」しながら、紙産業を盛り上げていきます。

おめでとうございます!!



四国中央商工会議所
井川高幸 会頭

紙のまちとして20年連続の日本一を達成できましたこと、大変喜ばしく思っております。

四国中央市においては、「製紙」会社が約40社あり、紙加工、販売、印刷、合成樹脂などの「紙産業」が約260社、更には、原料、薬品、機械、運輸などの「紙関連産業」が約200社と、計500社を超える産業クラスターが形成されています。

その重層かつ多様な業種構成を活かして、さまざまな紙製品のニーズに対応できるのが、当市紙産業の特徴



500を超える関連企業が立地し、産業クラスターを形成する四国中央市

おめでとうございます!!



愛媛大学
紙産業イノベーションセンター
内村浩美 センター長

20年連続で全国1位を達成されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

この輝かしい成果は、地域企業の皆さまが長年にわたり磨いてこられた高い技術力と、ものづくりへの誇り、そして地域全体で支え合う「協働の精神」の賜物だと思えます。伝統産業と共に発展し、更には機能紙やセルロースナノファイバーといった新分野への挑戦を続けてこられた姿勢は、全国に誇る地方産業のモデルと言えるでしょう。

愛媛大学では、来年度より市と連携した「紙産業イ



写真はイメージです

紙産業イノベーションセンター（妻鳥町・写真左）に隣接して建設予定の「 commons」（同右）

ノベーションセンター commons（しこちゅー commons）を開設します。当施設にて、オープンイノベーションによる新素材・技術の研究から製品化までを、ステークホルダーの皆さまと共に進めてまいります。

これからも、「紙のまち」の歴史と誇りを未来へつなぎ、若い世代に夢と希望を育む地域づくりを、皆さまと共に進めてまいります。